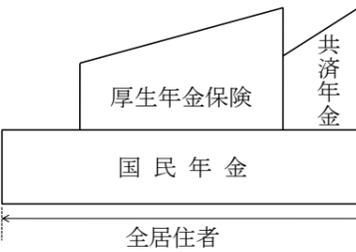
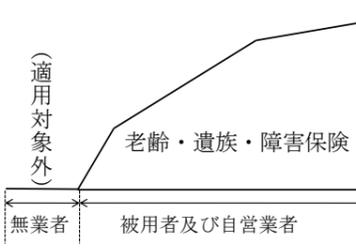
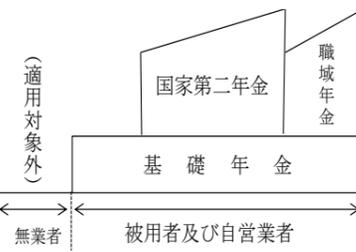
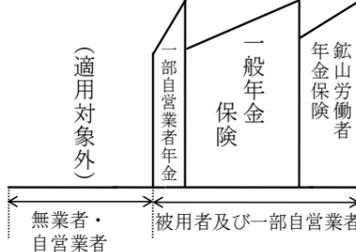
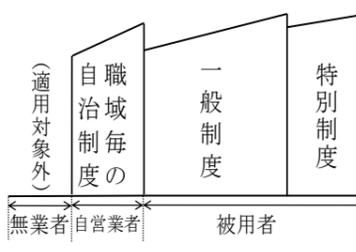
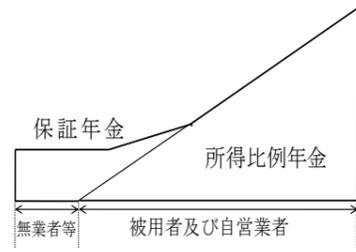


# 年金制度の国際比較

(平成26年6月作成)

	日本	アメリカ	英国	ドイツ	フランス	スウェーデン
制度体系	2階建て 	1階建て 	2階建て 	1階建て 	1階建て 	1階建て 
強制加入対象者	全居住者	被用者及び自営業者	被用者及び自営業者	被用者及び一部の職業に従事する自営業者 (弁護士、医師等)	被用者及び自営業者	被用者及び自営業者
保険料率 (2013 年末)	(一般被用者) 厚生年金保険：17.120% (2013.9～、労使折半) ※ 第1号被保険者は定額 (2013.4～、月あたり15,040円)	12.4% 本人：6.2% 事業主：6.2%	(一般被用者) 25.8% 本人：12.0% 事業主：13.8% ※ 保険料は労災、雇用保険等の財源にも利用	(一般被用者) 18.9% (労使折半)	(一般被用者) 16.85% 本人：6.85% 事業主：10.0%	17.21% 本人：7.0% 事業主：10.21% ※ その他に遺族年金の保険料1.17%が事業主にかかる(老齢年金とは別制度)
支給開始年齢 (2013 年末)	国民年金(基礎年金)：65歳 厚生年金保険：男性：61歳 女性：60歳 ※ 男性は2025年度までに、女性は2030年度までに65歳に引き上げ	66歳 ※ 2027年までに67歳に引き上げ	男性：65歳 女性：61歳11か月 ※ 女性について2018年までに65歳に引き上げられた後、男女ともに2020年までに66歳に引き上げ ※ さらに、2034年から2046年にかけて男女ともに66歳から68歳に引き上げ	65歳2か月 ※ 2029年までに67歳に引き上げ	61歳2か月 ※ 2017年までに62歳に引き上げ	61歳以降本人が選択 (ただし、保証年金の支給開始年齢は65歳)
年金受給のために必要とされる加入期間	25年 (2015年10月に、25年から10年に短縮される予定)	40加入四半期 (10年相当)	なし	5年	なし	なし (保証年金については最低3年のスウェーデンでの居住が必要であり、満額受給は40年の居住が必要)
国庫負担	基礎年金給付費の2分の1	原則なし ※ 2011年・2012年については一時的な特別措置として保険料率が2%引き下げられたため、不足分を補うために国庫負担が行われた。	原則なし	給付費の27.8% (2012年)	一般税、一般社会 拠出金(CSG)等から 約31.4%(2012年)	保証年金部分

資料出所 ・ Social Security Programs Throughout the World : Europe, 2012 / The Americas, 2011  
 ・ Mutual Information System on Social Protection in the Member States of the European Union  
 ・ 先進諸国の社会保障 ①イギリス ④ドイツ ⑤スウェーデン ⑥フランス ⑦アメリカ (東京大学出版会)  
 ・ 各国政府の発表資料 ほか